

島根大学プロジェクト研究推進機構
平成18年度研究成果報告会
参加者アンケート集計結果

回答者 計 35人

島根大学関係者(30) 教員(20) 技術系職員(3) 事務系職員(2)
学生・院生(2) その他(3)
研究者・技術者(3) 自治体等の調査研究機関(2) その他(1)

Q1 今回の成果報告会の中で関心があったプロジェクトに をつけてください(複数回答可)

汽水域(7) 中山間(5) 健康長寿(18) S-ナノテク(18)
医療・福祉施設(1) 燃料電池(7) 歴史景観復元(5) 石見銀山(3)
その他の研究プロジェクト→島根県連携新技術研究開発部門(2)

Q2 最も関心があったプロジェクトを一つ選び、以下の質問についてお応えください

汽水域の自然・環境再生研究拠点形成プロジェクト(8)

研究の目的、進め方等について

- 良い(2) おおむね良い(5) 改善の余地がある(1)
- ・ 想像性と創造性が見えない。モニタリングの統計の結果を待つしかないのだろうか。この汽水域をどうデザインするのか見えない。
 - ・

研究成果について

- 満足できる(1) ほぼ満足できる(6) 不満(1)
- ・ 強烈なインパクトにかける。
 - ・ 論文や特許などの成果報告が無かったのが残念。

健康長寿社会を創出するための医工農連携プロジェクト(7)

研究の目的、進め方等について

良い(5) おおむね良い(2) 改善の余地がある(0)

研究成果について

満足できる(4) ほぼ満足できる(3) 不満(0)

中山間地域における住民福祉の向上のための地域マネジメントシステムの構築(2)

研究の目的、進め方等について

良い(1) おおむね良い(1) 改善の余地がある(0)

研究成果について

満足できる(0) ほぼ満足できる(2) 不満(0)

S-ナノテクプロジェクト(12)

研究の目的、進め方等について

良い(10) おおむね良い(2) 改善の余地がある(0)

研究成果について

満足できる(9) ほぼ満足できる(3) 不満(0)

- ・プロジェクトの目的、目標が明確で底に向けて着実に進捗している。成果も顕著である。

島根県における歴史的文化遺産の景観復原に関する学際的研究(1)

研究の目的、進め方等について

良い(1) おおむね良い(0) 改善の余地がある(0)

研究成果について

満足できる(1) ほぼ満足できる(0) 不満(0)

Q3 今回の報告会についてどんなことでも結構ですのご意見をお書きください

- ・プレゼンにもう少しメリハリがほしい。
- ・強い意欲が感じられない。
- ・昨年に比べ、参加者の数が少ない。より一層の参加呼びかけが必要。
- ・島根大学の最高水準の研究発表会としてはややもの足りない。グローバル性、世界の先端性、レベルの高さなど、どうだろう。期待のしすぎだろうか。
- ・分かりやすくいずれの研究も説明されていて良かった。今後のさらなる研究の推進に期待する。
- ・各代表者の発表時間を半分程度にして(コンパクトにして)要点・論点を明確にしていた方が、参加者の理解が進むのではないかと感じました。
- ・昨年度の批評に対して、どのような批評があって、それに対してどのように対応したかについて、解説したプロジェクトがいくつかあったが、それはどのプロジェクトもスライドを用いて十分に示されるべきと思う。
- ・年度報告書のハードコピーや成果である論文の別刷りなどを会場の一画において、休み時間などに目を通すことができるようにしてほしいと思う。
- ・成果の明示、今後の研究の方向性が分かりにくい発表もあった。
- ・Sナノについては、今年度テーマが絞られており、成果の進捗が認められる。次年度は積極的に事業化へと進んでもらいたい。
- ・すぐに結果を求めるといのは、大学のすべきことではない。技術の公開は大切であるが、応用は企業主導で行うことではない。
- ・評価委員の先生からの批評が中心でよいと思います。研究内容の共有よりも評価システムの共有が必要と思いました。
- ・各研究プロジェクトの研究成果の概要が良くわかり、有意義であった。